

- 問1 北海道の東部に位置する根釧台地などの寒冷な地域において、乳牛を飼育して生乳や乳製品を生産する農業を何といいますか。牧草などの飼料生産と組み合わせられていることが特徴です。 (2018年 長野県公立入試 類似)
1. 果樹農業                      2. 促成栽培                      3. 酪農                      4. 放牧
- 問2 北海道の知床半島は世界自然遺産に登録されており、地域の自然環境を保護しながら、その価値を観光客に伝える「エコツーリズム」が推進されています。この取り組みの具体的な事例として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 熊本県公立入試 類似)
1. 札幌市で冬の観光振興を目的に行われる、大規模な雪像を展示するさっぽろ雪まつり                      2. 旭川市の動物園で見られるような、動物本来の動きを間近で観察できる行動展示の導入                      3. 野生動物との接触や植生へのダメージを抑えつつ散策を楽しめる、高架木道の整備                      4. ニセコなどのスキー場において、急増する外国人観光客に対応するための多言語表記の充実
- 問3 北海道の北東側に位置するオホーツク海から、冬に沿岸へ押し寄せ、解ける際に多くの栄養分を海に供給する氷の塊を何というか。 (2025年 青森県公立入試 類似)
1. 季節風                      2. 親潮                      3. 流水                      4. 寒流
- 問4 北海道の旭川市など、内陸部の都市の開発に関連した歴史的背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2016年 群馬県公立入試 類似)
1. 江戸時代に松前藩が交易の拠点として整備し、本州からの商人が集まって形成された                      2. 戦後の高度経済成長期に、石炭採掘の拠点としてゼロから建設された                      3. アイヌの人々が古くから築いていた大規模な城郭都市を、明治政府が接収して発展させた                      4. 明治時代以降、屯田兵が配置され、北方警備と並行して農地の開拓が行われた
- 問5 1958年に約47.8万人であった札幌市の人口が、2018年には約195.2万人へと急増した背景にある、北海道特有の社会経済的な状況として最も適切なものはどれですか。 (2021年 宮城県公立入試 類似)
1. 北海道全域で稲作が拡大し、農業に従事する現役世代が札幌市周辺の広大な農地へ移住したため。                      2. 道内の交通網が未発達であったため、物流の拠点として札幌市にのみ人口が残留せざるを得なかったため。                      3. 札幌市に大規模な工業地帯が形成され、重化学工業に従事する労働者が全国から一斉に集まったため。                      4. 道内の基幹産業であった石炭産業などの衰退により、地方から都市機能が集積する札幌市への人口移動が加速したため。
- 問6 北海道のオホーツク海沿岸で見られる流水と、その地域への影響について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2018年 山形県公立入試 類似)
1. 日本海の雪が海に流れ出て固まったもので、主に水田の灌漑用水として利用されている。                      2. 太平洋側から北上してくる大規模な氷山で、冬の間の船舶の往来をすべて止めている。                      3. シベリア沿岸で生まれた氷が南下してくるもので、冬の重要な観光資源として活用されている。                      4. 暖流の影響で海水が蒸発して氷になったもので、夏の冷害を引き起こす原因となっている。
- 問7 北海道の石狩平野における大正時代から現代にかけての地形の変化について、統計や地図上の情報を文章で説明した次の記述のうち、正しいものはどれですか。 (2021年 神奈川県公立入試 類似)
1. 海岸付近の流路をあえて蛇行させることで砂浜の浸食を防ぎ、現在は広大な塩田として利用されている。                      2. 蛇行していた河川が直線的に改修され、それに伴い碁盤目状の道路が整備され、橋の数も増加した。                      3. 河川を完全に埋め立てて住宅地としたため、現在は鉄道を中心とした放射状の道路網が広がっている。                      4. 山間部の流路を直線化したことで大規模な扇状地が形成され、現在は一面の畑地となっている。
- 問8 北海道東部の根釧台地において、稲作ではなく酪農が盛んに行われている理由として、その土地の自然環境について正しく説明しているものはどれですか。 (2018年 長野県公立入試 類似)
1. 年間を通じて温暖で降水量が少なく、乳牛の病気を防ぐために乾燥した土地を利用する必要があったため                      2. 火山灰が堆積した土地で水持ちが悪く、大規模な灌漑施設を整備して水田を開発することが困難であったため                      3. 広大な平坦地が広がり、大型機械を用いた大規模な小麦や大豆の栽培に特化した方が効率的であったため                      4. 夏でも気温が上がりにくく霧が発生しやすい寒冷な気候であり、作物の栽培よりも牧草の生育に適しているため
- 問9 北海道ニセコ町において、飲食業や宿泊業の就業者割合が主な産業の中で最も高くなっている主な理由として、適切なものを選択しなさい。 (2026年 岩手県公立入試 類似)
1. 年間を通じて温暖な気候を利用したリゾート開発が進み、国内外からの定住者が急増して一次産業を支えているため。                      2. 冬場にスキーなどのウインタースポーツを目的とした外国人観光客が多く宿泊し、観光関連の需要が高まっているため。                      3. 豊かな森林資源を活かした木材加工業が発達し、それに伴う作業員の長期滞在用宿泊施設が増加しているため。                      4. 夏場に大規模な農作物の収穫体験を行うため、世界中から農家や観光客が集まり宿泊施設を長期間利用するため。
- 問10 北海道の内陸部に位置する地域の気候の特徴について、ある地点の統計を確認したところ、1月の平均気温がマイナス20度近くまで下がり、年間のすべての月において降水量が100mm未満という非常に少ない数値を示していました。この地域の気候について正しく述べたものはどれですか。 (2019年 富山県公立入試 類似)
1. 対馬海流の影響を強く受けるため、冬に雪が多く、年間降水量が2000mmを超える。                      2. 季節風の影響で冬の降水量は多いが、夏は太平洋高気圧の影響で乾燥する。                      3. 夏に「やませ」と呼ばれる冷たい北東風の影響を強く受け、夏でも霧が発生しやすい。                      4. 冬の寒さが極めて厳しく、夏は冷涼で、年間を通して降水量が少ない。
- 問11 日本の都道府県別の統計において、空港の数が14か所と全国で最も多く、新幹線の駅の数が2か所設置されている都道府県があります。この地域において、これほど多くの空港が設置されている地理的な理由として最も適切なものはどれですか。 (2021年 岩手県公立入試 類似)
1. 日本の国土の約2割を占める広大な面積を持ち、道内の主要都市間を効率的に結ぶ交通手段が必要であるため                      2. 険しい山脈が中央部を走っているため鉄道や道路の建設が難しく、空路が唯一の移動手段となっているため                      3. 四方を海に囲まれた島国のような環境であり、本州との往来には航空機を利用する以外の方法がないため                      4. 世界遺産の登録数が国内で最も多く、海外からの観光客を各地の観光地へ直接送客する必要があるため
- 問12 北海道を東西に横断するように、日本海沿岸の石狩平野付近から太平洋沿岸の十勝平野付近までを直線で結んだとき、その区間の地形断面に見られる特徴として最も適切なものはどれですか。 (2021年 岩手県公立入試 類似)
1. 一箇所に孤立した高い火山がそびえており、それ以外の大部分は海拔の低い平坦な土地である。                      2. 中央部に大規模な盆地が存在し、東西の両端にのみ険しい山岳地帯が位置している。                      3. 全域になだらかな丘陵地が続いており、標高の高い山地は存在しない。                      4. 中央部に大雪山系などの標高2000m級の険しい山地が連なり、その両端に平野が広がっている。